



げんき

NPO法人八王子市体育協会

平成26年5月14日

第43号会報



平成25年9月15日 八王子市民体育大会総合開会式

2位に大差のぶつちぎり優勝でした。八王子市は、サッカー（女子）・体操（競技と新体操）・自転車（ロードレース）・軟式野球・ゴルフ・高校野球（硬式）の6競技とインディアカ・グラウンドゴルフ・少林寺拳法・ターゲットバードゴルフ・ネオテニス・ブラインドサッカーの6つのデモ・ノストラーシヨン行事を担当し、無事に盛大に実施することが出来ましたが、これはご協力くださった方々のお陰と感謝しております。昨年の体育の日の頃の新聞に「体力と運動能力は子どもが低迷し、高齢者が向上している」また「文部科学省の調査では70代の体力が過去最高であることが判った」という記事が載っていました。これは一般的な社会現象ですが、体育協会としては看過出来ない問題です。これまでの体育協会の主たる業務は「強い選手を育て、競技に勝つ良い記録を出す」と言うことでした。少子化が進んだこともあってか、子どもが頭だけ使って体を使わない・鍛えない傾向が生まれ、一方で高齢化が進んだためか、益々元気な高齢者が増えて来ています。ここに体協の新しい役割が出て来ています。これを定着させると「どうジユニアスポーツをする」こと。②高齢者には体力を維持させて、寝込まずに長生きするような「ニニアスポーツをすすめる」ことの2つです。高齢者が寝込んで長生きして平均寿命だけは延びるという事があれば、長生きは苦痛になってしまい、生きている幸せを享受することにはなりません。ならばどうするか？そこに体協の出番があるのではないか？

先の冬季オリンピック・パラリンピックで沢山の感動をもらいました。特に、若い人たちの活躍は素晴らしいものでした。選手の低年齢化の傾向はいろいろな競技に見られます。体操・陸上競技・水泳・スキージャンプ・フィギュアスケート・スノーボード等々です。この人達が2020年の東京オリンピック・パラリンピックまで力を伸ばしてくれたら、沢山のメダルが期待出来ます。ただスポーツに限らず、脚光をあびられるのはほんの一握りの人で、大部分の人は脚光に関係のない縁の下の力持ちで終わりますが、目標に向かつて費やした努力の積み重ねは決して無駄にはならないと思います。「あれだけ努力したのだから、あんなに苦しい練習に耐えられたのだから、これくらいは何でもない」といった気持ちの支えに間違いなくつながって社会生活が非常に役立ちます。

この1年は、酷暑、厳冬多雪という厳しい気候で、天災が多発する非常に困った年でした。季節が少しずつ狂っているような感じさえあります。何はともあれ、乗り切らなければなりません。厳しい気候に負けない体を作つて、ひとまず2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて邁進して行きたいのでよろしくお願いします！

昨年の日本10大ニュースの第1位は、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したことでした。昭和39年に開催された前回の東京オリンピックの感動をまた味わえるかと思うとわくわくします。その上、我々も何らかの形でお手伝い出来るチャンスが期待出来ます。世界の人達に「さすが！」と言つてもらえるようなレベルのオリンピック・パラリンピックにしたいものです。

東京多摩国体が無事終了し、わが東京都は男女ともに大差のぶつちぎり優勝でした。八王子市は、サッカー（女子）・体操（競技と新体操）・自転車（ロードレース）・軟式野球・ゴルフ・高校野球（硬式）の6競技とインディアカ・グラウンドゴルフ・少林寺拳法・ターゲットバードゴルフ・ネオテニス・ブラインドサッカーの6つのデモ・ノストラーシヨン行事を担当し、無事に盛大に実施することが出来ましたが、これはご協力くださった方々のお陰と感謝しております。

昨年の体育の日の頃の新聞に「体力と運動能力は子どもが低迷し、高齢者が向上している」また「文部科学省の調査では70代の体力が過去最高であることが判った」という記事が載っていました。これは一般的な社会現象ですが、体育協会としては看過出来ない問題です。これまでの体育協会の主たる業務は「強い選手を育て、競技に勝つ良い記録を出す」と言うことでした。少子化が進んだこともあってか、子どもが頭だけ使って体を使わない・鍛えない傾向が生まれ、一方で高齢化が進んだためか、益々元気な高齢者が増えて来ています。ここに体協の新しい役割が出て来ています。これを定着させると「どうジユニアスポーツをする」こと。②高齢者には体力を維持させて、寝込まずに長生きするような「ニニアスポーツをすすめる」ことの2つです。高齢者が寝込んで長生きして平均寿命だけは延びるという事があれば、長生きは苦痛になってしまい、生きている幸せを享受することにはなりません。ならばどうするか？そこに体協の出番があるのではないか？

体協の出番が増えそうですね！

NPO法人八王子市体育協会
会長 澤本則男





寄稿文

NPO法人八王子市体育協会会報「げんき」が発刊されますことを心からお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から本市のスポーツ振興と競技力の発展・向上にご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。貴協会が

はじめ加盟団体の皆さま、関係各位の団結力の強さに改めて敬意を表します。半世紀以上の長きにわたり、市民の健康増進のために惜しみない力を注がれてこられた努力と情熱、そして澤本会長をはじめ加盟団体の皆さま、関係各位の団結力の強さに改めて敬意を表します。

さて、昨年は東京で54年振りとなる「スポーツ祭東京2013・東京多摩国体」が開催されました。八王子市では正式・公開競技6種目とデモンストレーションとしてのスポーツ行事6種目を開催しました。中でも市民

球場で行われた高校野球では、5日間にわたる熱戦が繰り広げられ、2万人もの観衆にご来場いただきました。大会を通じて本市の魅力発信に寄与したものと考えております。多くの皆さまに支えられ、無事閉幕できましたことを、深く感謝しております。

今年も世界レベルのスポーツ界の話題が続きますが、その先陣を切つて先月閉幕したソチ冬季オリンピック・パラリンピックでは、日本人選手が躍動しました。オリンピック特有のプレッシャーに負けず、結果を残した若い選手の姿や、その一方でベテラン選手の活躍もあり、多くの日本人が感動に包まれました。勝負には、必ず勝者と敗者が生まれますが、競技終了後、お互いをたたえあう選手の姿には、全力を尽くして競い合つた者の清々しさがあり、スポーツの持ついる素晴らしさを改めて実感いたしました。

2020年には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。今後は東京都と緊密に連携しながら、事前合宿の誘致やジュニア育成などに積極的に取り組んでいきたいと考えております。6月から7月にかけては、サッカー界最大のイベントであるワールドカップがブラジルで開催されますが、日本代表には、激戦を勝ち抜いていただけるよう願っております。

そして、いよいよ10月には狭間駅前に待望の総合体育館がオープンします。この新体育館は全国的に珍しい、2つのアリーナを備え、2つの大会を同時に開催することが可能となります。全国規模の大会と同時に、市内スポーツ・レクリエーション団体の皆さまにも大会などにご活用いただけますので、ぜひご期待いただきたいと思います。

結びに、貴協会の今後ますますのご活躍並びにご発展を祈念いたしますとともに、貴協会の皆さまには、引き続き本市のスポーツ振興にお力添えをいただき、その推進役としての役割を担つていただきりますよう心からお願い申しあげ、挨拶いたします。

八王子市長 石森 孝志

平成26年度

体協主行事日程【予定】

顧問	名譽会長	立川富美代	澤本則男	黒須隆一	会長	澤本空手道	立川学識	林泰男	植松日出男	本橋弘	澤邊喜美枝	庄司義和	高橋健司	鈴木紀幸	澤谷川仁	小泉修	小池玲子	田中定一	小笠勝司	久保田勇	牧野昌男	岩崎繁	森下宏章	馬場平	山口	中村芳男	山崎義夫	山口章	中村玲木	山崎英雄	山口正己	山崎麻鳴	森本仁	吉野亨	森本居合道	吉野亨	浜口登	浜口	吉野亨	森本居合道																		
立石弘文	石森孝志	萩生田光一	澤本空手道	立川学識	澤本空手道	立川学識	林泰男	植松日出男	本橋弘	澤邊喜美枝	庄司義和	高橋健司	鈴木紀幸	澤谷川仁	小泉修	小池玲子	田中定一	小笠勝司	久保田勇	牧野昌男	岩崎繁	森下宏章	馬場平	山口	中村芳男	山崎義夫	山口章	中村玲木	山崎英雄	山口正己	山崎麻鳴	森本仁	吉野亨	森本居合道	吉野亨	浜口登	浜口	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道			
栗原金夫	赤井重朗	嶋崎幸	自転車競技	黒須隆一	澤本空手道	立川学識	林泰男	植松日出男	本橋弘	澤邊喜美枝	庄司義和	高橋健司	鈴木紀幸	澤谷川仁	小泉修	小池玲子	田中定一	小笠勝司	久保田勇	牧野昌男	岩崎繁	森下宏章	馬場平	山口	中村芳男	山崎義夫	山口章	中村玲木	山崎英雄	山口正己	山崎麻鳴	森本仁	吉野亨	森本居合道	吉野亨	浜口登	浜口	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道			
クリー射撃	剣道	自転車競技	ライフ射撃	立川学識	澤本空手道	立川学識	林泰男	植松日出男	本橋弘	澤邊喜美枝	庄司義和	高橋健司	鈴木紀幸	澤谷川仁	小泉修	小池玲子	田中定一	小笠勝司	久保田勇	牧野昌男	岩崎繁	森下宏章	馬場平	山口	中村芳男	山崎義夫	山口章	中村玲木	山崎英雄	山口正己	山崎麻鳴	森本仁	吉野亨	森本居合道	吉野亨	浜口登	浜口	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	吉野亨	森本居合道	

運営委員	監事	理事	会計理事	専務理事	副会長	顧問
立石弘文	赤井重朗	嶋崎幸	自転車競技	黒須隆一	澤本空手道	立川学識
栗原金夫	黒須隆一	澤本空手道	立川学識	林泰男	植松日出男	立川学識
クリー射撃	剣道	自転車競技	ライフ射撃	本橋弘	澤邊喜美枝	立川学識

3月	1月21日	平成27年	9月7日	5月21日	5月18日	第67回
※その他	第65回 全関東夢街道駅伝	8体協新年会	第31回ふれあい運動会	第68回八王子市民体育大会総合開会式	都民体育大会開会式	第11回市民健康の日 健康フェス夕開催
八体協事業	競走大会協力	八体協新年会	役員協力	八体協定期総会	八体協定期総会	都民体育大会開会式

東京多摩国体 スポーツ祭東京2013

平成25年9月28日に、味の素スタジアムでスポーツ祭東京2013・総合開会式が開催された。八王子市体育協会の役員も10名が参加し、9月とはいえ真夏のような日差しがあった。入場には事前に郵送されてきたIDタグを首にかけ、入場のチケットでは持ち物を全て出し、金属チェックも受けるという物々しさであった。

会場の広場では、さまざまなイベントや、団体グッズ、スポーツメイカーナ等が軒を連ねていた。定刻に近づきに連れ、徐々に参加者が増してきた。会場の外では各県などの選手団が集合して入場を待っている。

味の素スタジアムは超満員となり、オープニングエキシビションでは、テニスでおなじみの松岡修三氏が会場を盛り上げた。その後、天皇皇后両陛下をお迎えし、選手団の入場の際にはブルーインパルスがストライクを飛行するというサプライズに会場も大いに沸いた。聖火ランナーのリレーでは、車椅子のランナーも一緒に場内をリレーし、炬火点火や選手宣誓が行われた。会場では本市の田中理事が聖火のトーチを持つ一人として参加をした。ユーリート音頭なども披露され、エブリリトルシングのミニコンサートもあり、会場をペントで彩るなど、イベント色の強い、

「これはオリンピックの開会式?」とおもわせるほどの素晴らしい開会式であった。

スポーツ祭東京2013・東京多摩国体の八王子市開催競技の内容は次のとおり。平成25年9月28日～10月8日までの間、多摩地域を中心に37競技（正式）、3競技（公開）が開催された。デモンストレーションとしてのスポーツ行事も57種目が開催された。マスコットキャラクターの「ゆりー」とは東京都の鳥「ゆりかもめ」と「アスリート」を合わせた造語で公募により決定した。今回の東京国体の参加者数は全体で観覧者が約750,000人。

八王子市開催競技の参加者数の合計は、130,507人で、このうち、八王子市だけの来訪者（選手、監督、大会関係者、観戦者）の総数は64,186人。

八王子市開催種目

※国体推進室資料提供

サッカー女子競技

全国のプロック大会を勝ち抜いた16チームが出席。八王子市、調布市、清瀬市、日の出町の3市1町で9月30日～10月3日の4日間で開催。本市の上柚木公園陸上競技場では9月30日に1回戦を3試合、10月2日に準決勝2試合と計5試合を行った。

東京都のチームは組み合わせ上、上柚木公園陸上競技場での試合であつたが、一回戦で愛媛県チームに2対0で惜しくも敗れた。



自転車競技（ロードレース）

9月29日に八王子市役所前をスタートし、あきる野市、檜原村を経由し、奥多摩町でゴール。交通事情により、片道のコースとなりとなつた。八王子市役所が標高1,25メートル最高地点の風張峠が1,140メートルで、高低差が1キロメートルを超える山岳コースでありながら、八王子・あきる野の市街地も走行しており、出場選手たちは、多くの観客の声援の前を走行

することができ、たいへん喜んでいた。成年男子において、昨年のリハーサル大会の少年男子で優勝の西村選手が2位に入賞した。



軟式野球競技



高等学校野球（硬式）競技

八王子市の単独開催で9月位29日～10月3日の5日間、八王子市民球場で開催。人気競技のため報道関係や新聞社、全国ネットのテレビ局などが来場。優勝は東京都代表の修徳高等学校と大阪桐蔭高等学校の2校となつた。



体操競技

八王子市の単独開催で、新体操が9月29日、30日の実施。体操競技は10月2日～5日の4日間で東京工業大学・日本工学院八王子専門学校の体育館で実施。東京都チームは全ての競技に入賞し、男女総合・女子総合で優勝した。





八王子市の単独開催で、9月29日～10月1日まで、3日間、八王子カントリークラブ、GMG八王子ゴルフ場、武藏野ゴルフクラブの3会場で開催。東京チームは成年男子団体7位、女子団体6位でしたが、女子個人戦では永井花奈選手が2位。7月の世界ゴルフジュニア選手権では7位入賞でした。



ゴルフ競技



ジュニア育成地域推進事業

平成25年度のジュニア育成地域推進事業は13団体15事業で実施された。

参加者は小・中・高生合わせて694名、延べ参加人数3359名と前年比6%弱の増加傾向を示しており、これも主管団体事業推進者の熱意ある活動の賜物と感謝する次第である。



乗馬



アーチェリー



トライアスロン



ボウリング



新体操



スキー



ソフトテニス



トランポリン



バドミントン



パラーボール



フェンシング



体操



陸上



卓球

シニアスポーツ振興事業

高齢者のスポーツ実施率向上と健康維持・増進に寄与することを目的に設置された事業で、平成25年度は八王子市卓球連盟が近隣の卓球チームも招聘し、オープニングシニア卓球大会を、八王子市陸上競技協会は外部講師を招いてジョギング講習会を、八王子市なぎなた連盟は勉強会の後、競技会形式で演武を披露した。来年度は八王子市ソフトテニス連盟、八王子アーチェリー協会が新たに参加、5団体による事業実施を予定している。



シニアなぎなた



シニアなぎなた



シニア卓球



シニア卓球



シニア陸上



シニア陸上

八体協25年度事業



2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催の決定を受け、萩生田光一顧問（衆議院議員）のご指導のもと、平成25年12月9日建設予定地の視察、並びに全体の建設計画の説明を受けた。この見学会を八体協研修事業として本市より2台の大型バスに分乗し、93名の参加で行った。

午前中は2班に分かれ、オリパラ会場の各施設の建設予定地を東京都オリンピック推進室の方からの説明を受けながら視察、次にフジテレビ内のスタジオ見学を行った。

午後は衆議院議員会館にて文科省スポーツ青年局 競技スポーツ課 杉浦課長、内閣官房2020年オリパラ東京大会推進室 高木企画官をお招きし、「2020年オリパラに向けた取り組み状況」の説明を受けて、その質疑応答を行った。その後、国立競技場・秩父宮スポーツ博物館を見学した。前回の東京オリンピックの時に使われたこの国立競技場は26年7月から大改造工事に入り、2020年のオリパラのメイン会場として生まれ変わる。



富士森市民体育館は平成27年10月より耐震工事の為、1年間使用できなくなります。平成27年度の市民体育大会開会式は狹間の総合体育馆にて行う予定です。平成28年度市民体育大会は富士森の市民体育馆に戻ります。八王子市体育協会ではオープン前の内覧会を9月に予定しています。

八王子市は狭間駅前に平成26年10月1日、多摩地域最大の総合体育館を開設します。メインアリーナ、サブアリーナと運動広場からなり、その他に多目的ルーム、トレーニングルーム、託児ルームなどがあります。

メインアリーナの広さは約2200平方メートル。観客席は臨時席を合わせ3700席、全国規模の大規模な大会開催が可能です。サブアリーナは広さが約2200平方メートルで観客数は700席です。運動広場は約4000平方メートル、少年サッカーに使用可能で砂入り人工芝を施工する予定。

八王子市は狭間駅前に平成26年10月1日、多摩地域最大の総合体育館を開設します。メインアリーナ、サブアリーナと運動広場からなり、その他に多目的ルーム、トレーニングルーム、託児ルームなどがあります。

総合体育館

第65回
都民体育大会へ参加報告

第66回
市民体育大会 開会式

平成26年 新年会

夏を思わせる強い陽さしが注いだ平成25年5月12日(日)。障害のある人との人がお互いのスポーツ競技への理解を深め、交歓できる機会とされる「都民体育大会」「東京都障害者スポーツ大会」の合同開会式が開催された。

昨年の駒沢オリンピック公園総合運動場から、今回は例年の舞台である東京体育館に会場を移し、八王子市からは63名の大選手団で参加した。オリエンピアンの三宅諒さん、パラリンピアンの土田和歌子さんのお二人による開式通告に続き、各選手団のカラフルなユニフォームを楽しめる選手団入場。旗手をはじめとした本市選手団の入場は規定により25名。その他の参加選手はスタンンドにて大きな声援を送り、行進を大いに盛り上げた。

また、東京都体育協会による各種表彰では生涯スポーツ優良団体に水泳連盟が、生涯スポーツ功労者に田中理事がそれぞれ受賞した。

閉会の辞の後に行われた交歓プログラムではゲスト出演者によるトークショーやライブをはじめ、バケットの交流エキシビジョンマッチや「ゆりーと音頭」の披露など、いよいよ間近に迫った第68回国民体育大会ならびに第13回全国障害者スポーツ大会に向か、気運が高まるイベントが展開された。

競技の成績は4競技での優勝をはじめ、各参加競技の活躍により、男子総合3位、女子総合7位と多摩地域で最高の好成績を収めた。

台風18号の接近に伴い、多量の降雨に見舞われた平成25年9月15日(日)、市民体育館メインアリーナにおいて第67回市民体育大会総合開会式を開催した。

荒天の中、参加者数の減少も心配されていたが、会場は開式前から熱気にも包まれ、選手団1,184名がフロアいっぱいに整列し、開式を迎えた。

まずは選手団紹介。色とりどりのユニフォームはもとより、ポーズを決めたり、手を振るなど、各団体が趣向を凝らした演出で盛り上げた。

スポート祭東京2013(東京多摩国体)の本日程の直前に実施された今回の開会式。すでにデモンストレーションとしてのスポーツ行事も開催されており、会場内には市内の小学校による手作りの応援メッセージなどを記した横断幕も掲げられる中、来賓等の祝辞では、全12競技での熱戦への期待や、競技会場での応援をはぐく、並行して市民大会を運営する各団体に対し、「八王子のスポーツのソコチカラを改めて実感」と大きな激励も頂戴した。

続く、選手宣誓は水泳連盟を代表し、高校水泳部主将である2年生河野洋介選手。若さあふれる力強さと音頭に選手団は大きな拍手で健闘と躍躍を誓い合つた。

アトラクションは国体のマスクコットキャラクター「ゆりーと」とともに、ルビー新体操クラブが出演し、すっかりお馴染みとなつた「ゆりーとダンス」を披露し、軽快なステップと満面の笑顔は選手団にとって最高のお土産になつたに違いない。

平成26年1月15日に平成26年新年会が八王子エルシィで参加者208名を迎えて、盛大に開催された。高橋理事の司会進行ではじまり、立川富美代副会長が開会の言葉を述べた。

続いて、主催者である澤本会長が「昨年を振り返り、2020年オリンピックの東京開催が決定し、第68回国民体育大会では東京都が総合優勝を果し、大変に良い年であった。また、待望の総合体育館が平成26年10月にオープンすることになり、そこは全国大会ができる規模で八体協としてはジニア育成やシニアスポーツ振興などの活動場所がないことが課題であったことから平成28年からは改修後の現在の市民体育館と2館になり、36団体の活動場所が整うため、本市のスポーツ振興を八王子市体育協会としてもさらに推進していくたいと思う。」と挨拶をした。

次に、八体協の名誉会長である石森孝志八王子市長よりご挨拶を頂き、「國体を振り返り、國体は正式競技6競技が本市で行われ、約6万5千人の来場があり、八体協の全面バックアップがあつたことと、加えて、2年ぶりに開催の市町村総合体育大会の連覇を達成して10連覇までお願いしたい」などのお話をされた。

次に、黒須隆顧問よりご挨拶を頂き、続いて萩生田光顧問については公務のため、代理で秘書の降駒芳徳様のご紹介、八王子市教育委員会の坂倉教育長のご挨拶に統いて、東京都議会議員相川博様、近藤充様、両角穂様、東村邦浩様の代理で佐藤事務長様のご紹介をし、代表して両角穂様のご挨拶を頂き、統いて、八王子市議会議員

小林信夫議長様、福安徹副議長様、塚本秀雄様、森英治様、水野淳様、伊藤祥広様、伊藤忠之様、鈴木玲央様、浜中賢司様、鈴木基司様、吉本孝良様、馬場貴大様、安藤修三様を紹介をし、代表して小林信夫議長様のご挨拶を頂いた。

行政側の紹介では国体推進室の富貴澤繁幸室長、生涯スポーツ部スポーツ設施担当の岩田充主幹、国体推進室主幹の高橋課長、そして、関係団体のスポーツ推進協議会会長市川光昭様の代理で副会長の長田正美様、学生による手作りの応援メッセージを記した横断幕も掲げられる中、来賓等の祝辞では、全12競技での熱戦への期待や、競技会場での応援をはぐく、並行して市民大会を運営する各団体に対し、「八王子のスポーツのソコチカラを改めて実感」と大きな激励も頂戴した。

総会・懇親会

平成25年5月15日(水)に八王子エルシィ4階の会議室において、平成25年度NPO法人八王子市体育協会総会が開催された。18時に開会。総会会場には正社員総数37名中、37名(評決委任者7名)で、定款第26条の総会成立定数の出席で、植松日出男常務理事の司会進行により始まる。

林泰男副会長の開会宣言に統一され、議長は、以上の第1号、第2号議案について質疑を求めたところ、小西道雄(バスケットボール連盟会長)から賛助会費の定期積立した残り半額の計上箇所、及び水道料金の立て替え分との差額の計上箇所の質問があり、庄司義和会計担当理事より、賛助会費の残りの半額については各団体振興費として各団体に支出してお

る。議長は、以上第1号、第2号議案について質疑を求めたところ、小西道雄(バスケットボール連盟会長)から賛助会費の定期積立した残り半額の計上箇所、及び水道料金の立て替え分との差額の計上箇所の質問があり、庄司義和会計担当理事より、賛助会費の残りの半額については各団体振興費として各団体に支出してお

る。議長は、以上第1号、第2号議案について質疑を求めたところ、小西道雄(バスケットボール連盟会長)から賛助会費の定期積立した残り半額の計上箇所、及び水道料金の立て替え分との差額の計上箇所の質問があり、庄司義和会計担当理事より、賛助会費の残りの半額については各団体振興費として各団体に支出してお

る。議長は、以上第1号、第2号議案について質疑を求めたところ、小西道雄(バスケットボール連盟会長)から賛助会費の定期積立した残り半額の計上箇所、及び水道料金の立て替え分との差額の計上箇所の質問があり、庄司義和会計担当理事より、賛助会費の残りの半額については各団体振興費として各団体に支出してお

る。議長は、以上第1号、第2号議案について質疑を求めたところ、小西道雄(バスケットボール連盟会長)から賛助会費の定期積立した残り半額の計上箇所、及び水道料金の立て替え分との差額の計上箇所の質問があり、庄司義和会計担当理事より、賛助会費の残りの半額については各団体振興費として各団体に支出してお

る。議長は、以上第1号、第2号議案について質疑を求めたところ、小西道雄(バスケットボール連盟会長)から賛助会費の定期積立した残り半額の計上箇所、及び水道料金の立て替え分との差額の計上箇所の質問があり、庄司義和会計担当理事より、賛助会費の残りの半額については各団体振興費として各団体に支出してお

る。議長は、以上第1号、第2号議案について質疑を求めたところ、小西道雄(バスケットボール連盟会長)から賛助会費の定期積立した残り半額の計上箇所、及び水道料金の立て替え分との差額の計上箇所の質問があり、庄司義和会計担当理事より、賛助会費の残りの半額については各団体振興費として各団体に支出してお

る。議長は、以上第1号、第2号議案について質疑を求めたところ、小西道雄(バスケットボール連盟会長)から賛助会費の定期積立した残り半額の計上箇所、及び水道料金の立て替え分との差額の計上箇所の質問があり、庄司義和会計担当理事より、賛助会費の残りの半額については各団体振興費として各団体に支出してお

る。議長は、以上第1号、第2号議案について質疑を求めたところ、小西道雄(バスケットボール連盟会長)から賛助会費の定期積立した残り半額の計上箇所、及び水道料金の立て替え分との差額の計上箇所の質問があり、庄司義和会計担当理事より、賛助会費の残りの半額については各団体振興費として各団体に支出してお

り、計上箇所は事業報告の各団体実施事業の活動支援に含むとの答弁があつた。また、水道料金の立て替え分との差額については、市から年度末までに請求が来る部分については、翌年度の支出となることから差額が生じているとの答弁があり、質問者は了解した。議長は、このほか質問がなかつたため、第1号、2号議案の可否を出席者全員に諮つたところ、出席者全員の賛成があり本議案は承認可決された。

第3号議案、平成25年度事業計画書(案)の承認について高橋健司理事は、本法人の平成25年度事業計画案を総会資料に基づき説明を行つた。

第4号議案平成25年度収支予算書(案)の承認について庄司義和会計担当理事は、総会資料に基づき平成25年度収支予算案を説明した。

議長は、第3号議案及び第4号議案について質疑を求めたが、発言がなかつたことから第3号議案及び第4号議案の可否を出席者全員に諮つたところ、出席者全員の賛成があり、本議案は承認可決された。

議長は、本日のすべての議事が終了した旨を告げ、議長及び書記を解任。副会長、林泰男(理事)より閉会の挨拶があり、本通常総会は閉会した。

会場を移し、懇親会を開催。高橋健司理事の司会で始まる。立川橋健司理事長の挨拶が始まり、萩生田光顧問、坂倉仁教育長のご挨拶が続き、来賓である生涯学習推進室高橋利光主幹様、国体振興課小山等課長様、スポーツ施

設管理課橋本徹課長様のご紹介と続く。本橋弘専務理事の乾杯の発声に続き、各テーブルでの交流が続き、出席者数の88名の会員及び来賓が歓談し閉会まで例年通り和やかな時間が過ぎていった。

平成25年度 東京都市町村体育関係者 幹部研修会

平成26年3月9日・10日の日程で平成25年度の市町村体協連合会の幹部研修会が山梨県笛吹市のホテルやまなみで開催された。八体協より澤本会長と本橋専務理事が今年度も参加した。

市町村体協連合会の小島寿一郎会長の挨拶があり、第1部の研修会がスタートした。東京都のスポーツ祭東京担当部長の川合純様の【スポーツ祭東京2013】をふりかえつての講演では大成功に終わつた裏には大変なご苦労があつたようである。講演2では、東京都スポーツ推進計画・東京都障害スポーツ振興計画・スポーツ推進施策の主な取り組み等の話が有つた。講演3では、東京都体育協会専務理事坂垣典典様の【東京都体育協会における事業について】の話で休憩に入つた。

その後、東大和市体育協会・尾崎菊治会長、日野市体育協会・伊藤直広常務理事より【体育協会の現状と課題】についての事例発表があり1日目の研究会を終了した。

第64回 全関東八王子夢街道駅伝競走大会への協力



スーパーアルプス第64回全関東八王子夢街道駅伝競走大会(大会実行委員会主催)毎日新聞社、社団法人東京陸上競技協会後援、メーンスポンサー・スープアルプスが1月26日に都立南多摩高等学校・中等教育学校を開閉式会場にし、スタートをJR八王子駅北口、フィニッシュを都立南多摩高等学校・中等教育学校にて開催された。

1部・7部の構成になっている。1部・一般男子の部、2部・大学男子の部、3部・高校男子の部、4部・市内中学校男子の部、5部・般女子の部、6部・高校女子の部、7部・市内中学校女子の部である。

市内中学男子の部(第4部)		
1位	八王子三中陸上競技部A	(49分51秒)
2位	中山山	(50分32秒)
3位	八王子三中陸上競技部B	(52分44秒)
4位	八王子市立石川中学校	(52分54秒)
5位	八王子市立浅川中学校	(53分23秒)
6位	八王子市立宮上中学校	(53分15秒)

第64回 大会記録

◆一般男子の部(第1部)

◆一般女子の部(第5部)

◆高校男子の部(第3部)

★赤:区間新記録(現コース:第36~64回大会)

◆高校女子の部(第6部)

◆市内中学女子の部(第7部)

★赤:区間新記録(現コース:第36~64回大会)

◆市内中学男子の部(第4部)

★赤:区間新記録(現コース:第36~64回大会)

